

放電レベル検出可能な低価格センサーの開発について

油入ブッシングとは、変圧器内のコイルと変圧器外側の電線とを接続する部分を、筒状のがい子で覆っているもので、変圧器本体からの絶縁と電線を支持固定する役割を担っています。
電圧が高い回路では、筒状のがい子の中に絶縁油が入れています。



部分放電センサーの性能

検出範囲	1000~10000pC*
データ転送速度	約23秒/月間データ
通信可能距離	~250m
電池稼動可能時間	約3年

*pCは放電電荷量(高電圧機器の絶縁異常の指標である部分放電の大きさを示すもの)を表す単位でpは 10^{-12} を意味します。

《超高圧系変圧器に設置した部分放電センサ》



《センサー本体の外観》

